

さくら市 議会だより



令和6年8月15日

No. **78**
2024年

ちよど
いい!
さくら市



《市民すべてが暮らしやすいと実感できる、魅力あふれる「さくら市」を目指して》



喜連川戦没者霊苑清掃活動

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



マチイロ
マチを好きになるアプリ

栃木県のすべてがそろった「電子書籍」ポータルサイト「トチギーブックス」
TOCHIGI BOOKS



目次

- ◆ 令和6年第2回臨時会・第2回定例会……………2～3
- ◆ 各常任委員会（総務・文教厚生・建設経済）……………4～6
- ◆ 議会のいろは・議会活性化特別委員会……………7
- ◆ 一般質問 ここが聞きたい……………8～13
- ◆ 先進地に学ぶ（総務・文教厚生・建設経済）……………14～17
- ◆ どうなったんべあの質問は……………18
- ◆ 議会レポート・議会の動き……………19
- ◆ 市民の声・次回の定例会の予定……………20



○定期予防接種事業

新型コロナワクチン接種費用の助成を行うもの。

1人あたり接種費用 国助成 本市助成 自己負担
15,340円 - 8,300円 - 4,040円 = 3,000円

7,426万5千円

さくら市立小学校及び中学校の施設の開放に関する使用料条例の一部改正について

小学校及び中学校の体育館に空調設備を導入することに伴い、市民が利用する場合の空調使用料を設定するため所要の改正を行うもの。



選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書の提出について

選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求めるため、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣、総務大臣、内閣特命担当大臣(男女共同参画)あてに意見書の提出をするもの。



会議結果・賛否の公表 令和6年 第2回定例会

賛否のわかれたもののみ掲載しています。
※議長(笹沼昭司)は採決に加わりません。(○…賛成 ●…反対 欠…欠席 除…除斥)

議案等番号	件名	議決結果	議決日	合計		加藤誠一	落合千枝子	高瀬一徳	吉田雄次	大河原千晶	岡村浩雅	笹沼昭司	福田克之	加藤朋子	永井孝叔	若見孝信	石岡祐二	鈴木康男	角田恒充	手塚憲治	小堀勇人	矢澤功
				賛成	反対																	
補正予算 5	令和6年度さくら市一般会計補正予算(第2号)	可決	6月20日	12	5	○	○	●	○	○	○	-	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○
その他 追加議員案1	選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書の提出について	可決	6月20日	16	1	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
請願 1	選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書を国会に提出することを要する請願	採択	6月20日	16	1	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

「さくら市ホームページ」
さくら市議会▶臨時会▶



臨時会QRコード

●会議結果・賛否の公表については市HPをご覧ください。

「さくら市ホームページ」
さくら市議会▶定例会▶



定例会QRコード

第2回 臨時会 給付金の支給

令和6年第2回臨時会が5月24日に開催され、令和6年度一般会計補正予算等の議案6件を原案通り可決し、報告2件を受けました。

上程された主な議案

令和6年度一般会計補正予算(第1号)

○令和6年度住民税非課税世帯支援・定額減税補足給付金の支給

令和6年度に新たに住民税非課税世帯または均等割のみ課税世帯となった世帯へ10万円を支給する。さらに、対象世帯の18歳以下の児童1人当たり5万円を支給するもの。

8,305万4千円

定額減税で減税可能額より税額が低い方へ、減税できなかった額を1万円単位で支給するもの。

2億5,872万6千円



第2回 定例会 コロナワクチン接種助成

令和6年第2回定例会が6月4日から6月20日まで開催され、令和6年度一般会計補正予算等の議案6件、追加議案1件、追加議員案1件を原案通り可決し、報告5件を受けました。一般質問では、6名が市政について問いました。

上程された主な議案

令和6年度一般会計補正予算(第2号)

○給食センター建設事業費

調理業務、配送業務、配膳業務を同一業者に委託し、配送車両は市で購入する予定だったが、配送業務のみ分割発注し、配送車両についても配送業者が準備するものに変更する。



議員より附帯決議※が提出され、以下の条件付で可決された。

1. 更新時の発注に際しては、公正・公平、機会均等、経済性の確保など、予算決算常任委員会での指摘事項を踏まえ、今後十分に検討していくこと。
2. 事業内容や事業費に変更や見直しが生じた場合、また、事業の経過について、適宜、議会に説明、報告を行うこと。

※附帯決議…議案を議決するにあたって、議会の希望を意見として付すもの。

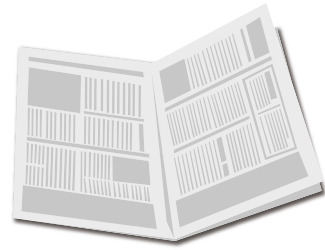
議会としての意見が、可否だけでは十分に表明し尽くせない場合があり、当該議案等を議決するにあたり、併せて附帯決議を議決して、事実上議会の意思を表明する取扱いがなされている。

総務常任委員会

◎大河原 千晶 ○吉田 雄次
落合 千枝子・永井 孝叔・渋井 康男・手塚 定

陳情第1号 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情 不採択

- 【概要】 職員が庁舎内で政党機関紙を勧誘されその際に心理的圧力を感じたという実感がなくどうか、調査・確認するよう行政に求める陳情。
- 【理由】 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態はなく、起こりうる懸念も少ないため。



請願第2号 選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書を国会に提出することを要望する請願 採択

- 【概要】 選択的夫婦別姓制度の国会における議論の活性化を求める意見書を、さくら市議会から国会に提出することを要望するもの。
- 【理由】 選択的夫婦別姓制度の国会での議論が進んでいない状況に鑑み、議論の活性化を求める意見書を国会に提出してよいのではないかと考えるため。

現地調査

- 2号源泉ポンプ(市営露天風呂)
- 菖蒲沢公園(公衆トイレ、テニスコート)
- さくら市総合公園(プール)
- さくら市役所卵の里庁舎



菖蒲沢公園(公衆トイレ)



さくら市総合公園(プール)



菖蒲沢公園(テニスコート)



さくら市役所卵の里庁舎

文教厚生常任委員会

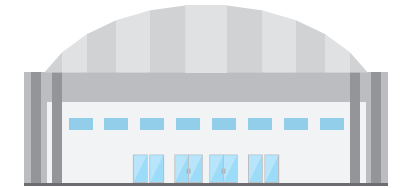
◎鈴木 恒充 ○加藤 誠一
笹沼 昭司・福田 克之・石岡 祐二・矢澤 功

追加議案第1号 さくら市立小学校及び中学校の施設の開放に関する使用料条例の一部改正について 可決

- 【概要】 小中学校の体育館に空調設備を導入することに伴い、市民が利用する場合の空調使用料を設定するため、改正を行うもの。

Q 一般の人が体育館を借りた場合は無料か有料か。

A 一般の方は有料。減免対象については、さくら市のスポーツ教室として開催する場合、1教室につき、週2回まで無料としている。照明代・空調代もかからない。ただし、3回目からは有料。



陳情第3号 現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める陳情 継続審査

- 【概要】 2024年12月から始まる健康保険証の廃止を中止し、当面の間、現行の健康保険証とマイナ保険証との両立を求めるよう、さくら市として国に意見書を提出するよう要望するもの。
- 【理由】 国の事業であり、まだまだ意見集約には満たないため。



現地調査

- 県営処分場「エコグリーンとちぎ」(那珂川町)
- 給食センター建設現場
- こども家庭センター



県営処分場「エコグリーンとちぎ」



給食センター建設現場



県営処分場「エコグリーンとちぎ」



こども家庭センター

建設経済常任委員会

◎小堀 勇人 ○岡村 浩雅
高瀬 一徳・加藤 朋子・若見 孝信・角田 憲治

陳情第2号

「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

継続審査

- 【概要】 1. 政府は、最低賃金法を全国一律制度に改正すること。
 2. 政府は、労働者の生活を支えるため、最低賃金1,500円以上をめざすこと。
 3. 政府は、最低賃金の引き上げができ、経営が継続できるように、中小企業への支援策を抜本的に拡充・強化し、国民の生命とくらしを守ること。
 以上のことを意見書として提出する採択を求めるもの。

- 【理由】 他自治体の審査結果なども踏まえ、
 陳情の内容について調査研究が必要と考えるため。



現地調査

宇都宮ライトレール株式会社

令和6年5月23日(木)

LRTは従来の路面電車と比べ、高いデザイン性(2023年度グッドデザイン賞特別賞受賞)を備え、宇都宮市の進める公共交通でつながったネットワーク型コンパクトシティのまちづくりの基軸として着実に計画を進め、令和5年8月26日に開業した。開業直後1ヵ月の乗降客が39万9千人、今年の4月にはこれを更新し42万1千人に達した。
 宇都宮市は、LRTによる経済効果は約900億円と見込んでいる。また、ゆいの杜には新設の小学校が開校し、LRT沿線(駅東側)の人口は10年間で約4,900人増えている。開業から7ヵ月の決算では約5,700万円の黒字となっている。

【執行部への提案】

本市において最も効果的かつ効率的な公共交通のあり方を検討し、実行すること。

現地調査

- 芳賀・宇都宮LRT(ライトライン) ●勝山パークブリッジ
 ●シンテックス株式会社「タスカル ショールーム宇都宮」 ●さくら市所有のドローン



芳賀・宇都宮LRT(ライトライン)



勝山パークブリッジ



タスカル ショールーム宇都宮



さくら市所有のドローン



Q 債務負担行為と繰越明許費とは

今回学校給食センターの調理業務と分けて、運送、配膳業務を地元の運送会社に委託したいという議案が提出され、条件付きで可決となりました。契約期間は5年の債務負担行為です。



債務負担行為とは

家計に例えれば「ローン」のようなものです。
 自治体の歳出は原則その年限りですが、一年を超えて支払う必要がある時に、この債務負担行為を使います。
 債務負担行為は予算と別に議会の承認が必要です。



繰越明許費とは

もともとは年度内に使う予定だった歳出が、やむを得ない事情等により使えなかったものです。
 例えば用地交渉がうまくいかず、道路の完成が年度内に終わらなかった時等に、翌年度に繰り越して使用する経費をいいます。こちらも議会の承認が必要となります。

議会活性化特別委員会

開催 6月6日(木)

◎岡村 浩雅 ○鈴木 恒充 他委員16名

市民の福祉の向上と責務達成のため、議会活動の活性化の調査研究をするとともに、関係法令の検証及び見直しを行うため、令和4年第4回(12月)定例会において「議会活性化特別委員会の設置に関する決議」により設置されました。
 議会活性化のための様々な課題について、調査・研究を進めています。

今回は、以下について検討しました。

- 「さくら市議会議員政治倫理条例」の見直しについて
- 議員の2常任委員会への所属について
- 広報委員会から広報広聴委員会への組織見直しについて



加藤 誠一 議員
Seiichi Kato



YouTube



第3次さくら市総合計画策定の課題とスケジュールは

▶ 分かり易い成果指標の設定が課題で、令和7年12月までに策定したい

- Q 公共施設等総合管理計画では、令和7年度から財源が8億円不足すると警鐘が鳴らされているが、財政計画との調整は。
- A ファシリティマネジメントをこれまで以上に進め施設維持管理費の低減を図っていく。
- Q 将来のさくら市像を描くにあたり市民の声をどう反映するのか。
- A 市民参画を通し市民の声を取り入れる手法を検討したい。



お丸山公園再整備について

- Q 再整備に向けての考え、スケジュールは。
- A 第5期エリア(未整備エリア)は、歴史や文化の魅力を楽しみながら、こども達が豊かに成長していける場所となるよう、整備に向け取り組んでいく。



お丸山第5期エリア



こども誰でも通園制度について

- Q 「こども誰でも通園制度」の取り組みに向けての課題とスケジュールは。
- A 市内保育園等15施設にアンケート調査を実施し、9施設から取り組みたいと回答があった。現状においては、施設の改修や保育士等の確保が課題であることから、令和7年度から実施に向け課題解消に取り組むたい。

その他の質問

- ◆こども計画について
- ◆窓口サービスの現状、今後の対応について



岡村 浩雅 議員
Hiromasa Okamura



YouTube



ドローンの活用について

▶ 職員で活用チームを組織

- Q 当面の目標、最終的な目標は。
- A 民間の操縦資格を取得すること。飛行訓練を重ね、安全にドローンを飛行させることができるようにし、ドローン活用に向けた下地づくりに取り組む。最終的な目標は、災害対策、道路橋梁管理、インフラ点検などに順次拡大を図っていくこと。また、職員が行うことで、即応性、効率化、コスト削減効果の向上などを図っていくこと。
- Q 一等・二等無人航空機操縦士、民間資格取得への取り組み及び支援制度は。

- Q 映像データ保管の現状及び今後の対策は。
- A 現在は、各担当のパソコンや庁内共有フォルダにおいて保管している。今後の本格運用に際しては、民間サービスを利用して、映像データを保管する手法へと移行する予定。



市所有ドローン ANAFI AI(フランス製)



窓口における「軟骨伝導イヤホン」の導入について

- Q 本市でも導入したらどうか。
- A 来庁者の方々がストレスなく窓口でのサービスを受けられること、相談の際の個人情報の保護に役立つことなどを鑑み、まずは試験導入に向けた取り組みを行っていく。



軟骨伝導イヤホン(質問後導入)

その他の質問

- ◆子ども子育て支援について
- ◆さくら市環境美化条例、農地法における雑草繁茂への対応について



加藤 朋子 議員

Tomoko Kato



YouTube



子育て支援さらなる進化を

▶ できる取り組みを着実に積極的に実行

Q 「こども誰でも通園制度」実装は現場に負担をかけない方法で慎重に行うべき。

A きちんとした制度としての運用には、相当の配慮が必要。

Q 貧困や虐待など困難を抱える子どもや家庭を支える「常設子どもの居場所」設置計画は。

A 複数の団体より相談を受けており、民間補助金を利用して約1年後の開設を目指す。

Q キャパシティ不足が予測される放課後児童クラブの今後は。

A 民設民営クラブ公募に向けて準備を進めている。



～子ども第三の居場所「ひより」(芳賀町)～

その他の質問

- ◆ 農福連携の拡充を
- ◆ 学校の働き方改革の進化は



安全安心な老後のために

Q 2050年には全世帯の44.3%が単身世帯、その内2割が高齢単身世帯となる予測だ。バリアフリー、見守り機能、緊急通報装置付きの市営住宅整備が必要では。

A 現在も市営住宅入居者の33%は高齢単身世帯。先進事例を参考に、市独自の取り組みを検討していく。

Q シェアハウスの機能を持たせては。

A 空き住戸の有効活用や、入居者が集える共用空間の整備など、様々な手法について検討を進める。



Q 身寄りのない高齢者の終活、死後の対応は。

A 国は金銭管理、入院時等緊急時の対応、死後の事務支援等をパッケージで提供する新制度の検討を始めた。市も必要な支援を積極的に行っていく。